

厚生労働省和歌山労働局発表  
平成22年12月28日  
午前10時

担当	厚生労働省和歌山労働局
	職業安定部職業安定課
	課長 仲摩 義生
	労働市場情報官 石川 正義
TEL	073-488-1160
FAX	073-475-0115

## 一般職業紹介状況(平成22年11月分)

**有効求人倍率(季節調整値)は前月より0.01ポイント上昇の0.64倍で、6か月連続で前月を上回った。**

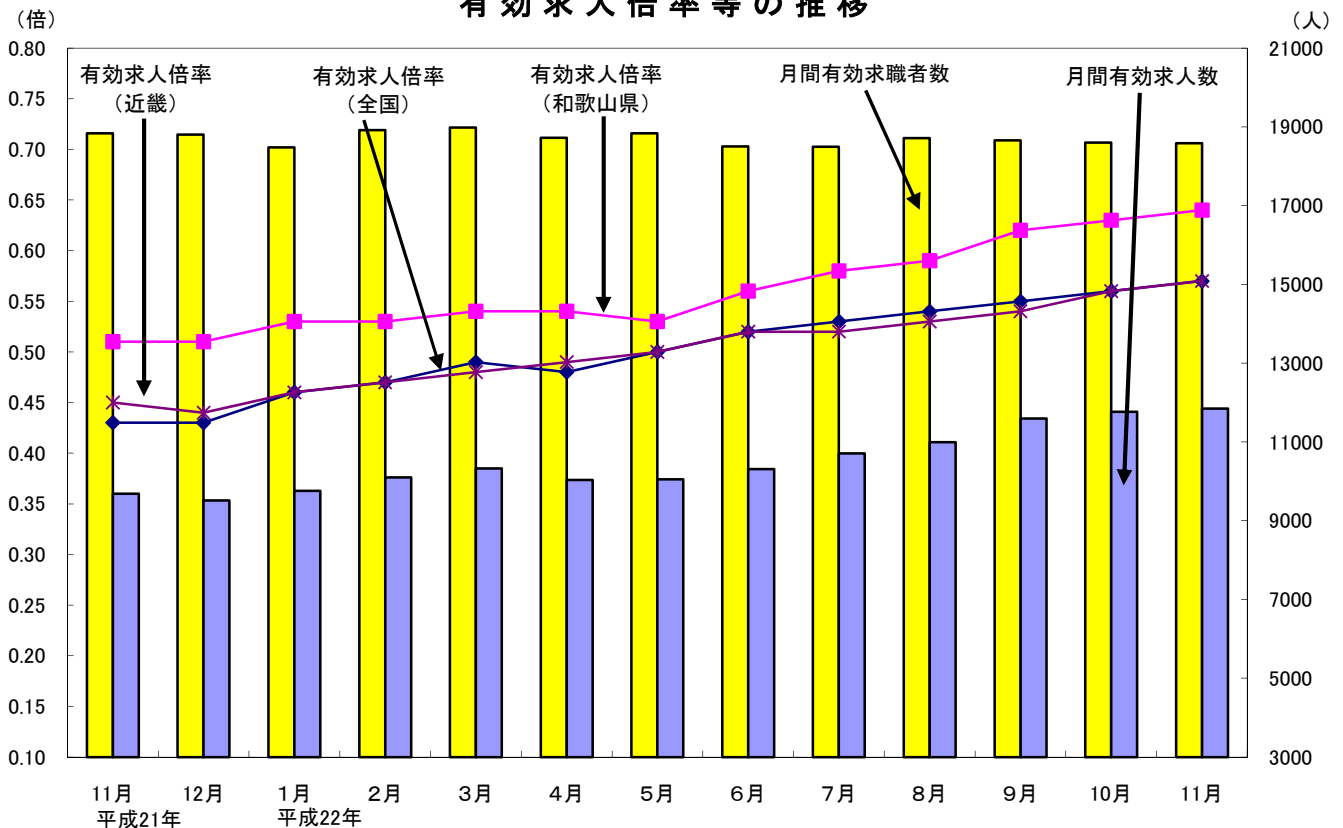
全国の有効求人倍率(季節調整値)は0.57倍で、前月より0.01ポイント上昇。

近畿の有効求人倍率(季節調整値)は0.57倍で、前月より0.01ポイント上昇。

新規求人倍率(季節調整値)は0.99倍で、前月より0.01ポイント低下。

- ◎ 新規求人数(原数値)は対前年同月比25.3%増。
- ◎ 新規求職者数(原数値)は対前年同月比10.5%増。

### 有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。  
季節調整値の平成21年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。  
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

## 1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より 0.01 ポイント低下の 0.99 倍で、2 か月連続で前月を下回った。

有効求人倍率(季節調整値)は 0.64 倍となり、前月を 0.01 ポイント上回った。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より 0.07 ポイント上昇の 0.35 倍で、5 か月連続で前年同月を上回った。

## 2 求人の動き

- (1) 新規求人数(原数値)は 4,663 人で、前年同月比 25.3%増(9 か月連続増)となった。  
有効求人数(原数値)は 12,216 人で、前年同月比 23.1%増(7 か月連続増)となった。
- (2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、  
「医療,福祉」(220 人増)、「卸売業,小売業」(210 人増)、「運輸業,郵便業」(158 人増)、「サービス業」(153 人増)、「製造業」(114 人増)、「建設業」(78 人増)、「不動産業,物品賃貸業」(25 人増)、「複合サービス事業」(22 人増)などで増加し、  
一方、「金融業,保険業」(28 人減)、「宿泊業,飲食サービス業」(20 人減)などで減少した。
- (3) 一般、パート別で新規求人の状況をみると、一般求人数は 2,641 人で前年同月比 24.5%増、パート求人数は 2,022 人で前年同月比 26.5%増となった。

## 3 求職者の動き

- (1) 新規求職者数(原数値)は 4,195 人で、前年同月比 10.5%増(2 か月ぶり増)となった。  
有効求職者数(原数値)は 18,049 人で、前年同月比 0.1%減(2 か月連続減)となった。
- (2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は 877 人で前年同月比 22.1%増(25 か月連続増)、離職者は 2,571 人で同 5.5%増(2 か月ぶり増)となり、離職者のうち事業主都合離職は 612 人で同 4.1%減(6 か月連続減)、自己都合離職は 1,749 人で同 7.8%増(2 か月ぶり増)、また、無業者は 690 人で同 25.2%増(18 か月連続増)となった。
- (3) 雇用保険の受給者実人員は 4,581 人で、前年同月比 8.5%減(9 か月連続減)となった。

## 4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は 1,675 人で、前年同月比 3.1%増(18 か月連続増)となった。

## 5 まとめ

正社員有効求人倍率が低水準であることや有効求職者数が高水準で推移していることなど厳しい状況にあるが、有効求人倍率や求人数の動向などに明るい要素がみられることから、雇用情勢は、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられている。